

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる



プレスリリース 令和6年6月19日(水)

島根県芸術文化センター「グラントワ」

(島根県立石見美術館)

総務広報課 担当：中川、上野

学芸課 担当：左近充

TEL 0856-31-1860

Email geibun1@pref.shimane.lg.jp

誰
もが
誰か
の
た
か
ら
の
もの。

島根県立石見美術館

コレクション展 「不可思議な絵とかたち」の開催について

島根県立石見美術館では、コレクション展「不可思議な絵とかたち」を下記の通り開催いたします。

記

1. 会 期 2024年6月27日(木)～9月7日(土)

【休 館 日】毎週火曜日(8月13日は開館)

【開館時間】9:30～18:00(展示室への入場は17:30まで)

2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室C(グラントワ内)

3. 展覧会概要及び見どころ

美術作品には、一見して「何が描かれているか」がわかるものと、そうでないものがある。この「わからないもの」あるいは「わかりにくいもの」は、いわゆる「抽象芸術」という分野に分類される作品が多いが、例えばその対義語である具象(はっきりした形を備えているもの)とされる芸術作品のなかにも、なぜこのような形をしているのか、何が描かれているのか、視覚情報だけでは判断が困難な作品もある。

しかし、実は、美術作品を鑑賞するうえで、何が描かれているか、背景を知ることが理解のひとつの要素ではあるが、全てではない。こと抽象芸術に関しては、解説は単なる構成要素の知識か、誰かの解釈でしかなく、確定的な意味をなさない場合が多い。表現に込められたテーマや主題は、個々が「自分の感想をもつこと」「なぜそうなっているのか考えてみること」でようやく見えてくる、自分なりの答えのようなものがある。今回は「目で体験すること」で、不可思議な作品を解説していただくことを展示のねらいとする。

(作品総数約20点)



澄川喜一《そりのあるかたち》 制作年不詳
櫨・カランタス



島根創生計画	VI心豊かな社会をつくる 2 スポーツ・文化芸術の振興 (2)文化芸術の振興(P.74)
--------	--

【県 HP】

(島根創生を進めるための新規・拡充施策(令和6年度版))

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/shinkikakujuR6.pdf>

(島根創生計画)

https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku_illustrated.pdf

